

発言者	内容
司会（会長）	道徳科の教科用図書について協議する。 東京書籍については、いかがか。
委員	考えようからつながる、広がるになるようになっていて、わかりやすい。
委員	内容項目の4つの観点に分けて書かれたページがある。 いじめを取り上げている部分もあってよい。
委員	郷土愛に関する部分が充実している。
委員	コンテンツがノート、動画、スライド等、充実している。 思考を深めるための言葉が紹介されている。 いじめ問題についても深く考えさせるようになっている。
司会（会長）	現代的な問題も取り上げられている。 心情円等、ついている。 学習の記録が巻末になっている。 挿絵も考えやすいようにしっかりと描かれている。
司会（会長）	教育出版については、いかがか。
委員	学習の流れはよいが、教材がややわかりにくい。
委員	教材ごとにふり返りの活動がきちんと設定されている。 教材ごとにフォントが違うのが気になる。
委員	非常によく考えられた教科書である。
司会（会長）	姫路が扱われているのがよい。 演じて考える活動があるのがよい。 見やすさという点では、白みが強く見にくい。
司会（会長）	光村図書については、いかがか。
委員	文章を大切にしているように感じる。 挿絵に頼らず文章できちんと説明されている。
委員	価値項目も最初に明示されている。 道徳を1年間でどのように学んでいくか書かれているので、わかりやすい。 学びながら、学び方を学ぶ作りとなっている。

委員	バランスよくいろいろな内容が書かれていてよい。
委員	みんなで気持ちよく話し合うための観点が書かれている。 ふり返りでは、自分のこととして考えた等、はっきりさせている。 1～4年は、シールで学びの記録を残すことができる。
司会（会長）	学びの道具箱で思考ツールが示されている。 問い返しにつながる部分であるので、学習がつながるのではないか。 いじめ問題として、よくある生活のことが題材になっている。
司会（会長）	日本文教社については、いかがか。
委員	教職員が作成するワークシートのほうがよいと思うので道徳ノートはなくてもよい。 複数学年で震災の取り扱いがある。
委員	ジェンダーの教材において、配慮がやや少ない。
委員	道徳ノートより、教職員が作成するワークシートのほうが活用しやすい。
司会（会長）	姫路についての教材が扱われている。 感動的な話が多かった。
司会（会長）	光文書院については、いかがか。
委員	考えようまとめよう広げようが学習の手助けとなっている。 あらすじを掴みやすい作りになっている。 流れがわかりやすい教材が多い。
委員	内容が読みやすいものが多い。 1年は紙芝居風の教材が多いため、興味を引きやすい。
委員	バランスよくできていてよい教科書である。
司会（会長）	思考ツールや会話ツールが取り上げられている。 取り上げている題材に、姫路について取り上げられている。 LGBTに関する教材や今日的な課題に関する教材などが多くよい。 ニコニコマークや心情マークなど、ふり返りに違和感がある。
司会（会長）	学研については、いかがか。
委員	考えましようがわかりにくい。
委員	読んでいく分には、教材に違和感はない。 いろいろな内容の教材があってよい。

委員	「いのち」を最重要テーマに置いている。 テーマについての教材が多く掲載されているため、他の観点の教材がやや少ない。
司会（会長）	著名人のメッセージ等工夫されている。 題名の下のリード文の意図がわかりにくい。 話し合いや思考ツールの記述が少ない。
司会（会長）	総括すると、光村図書を1番に推薦し、東京書籍を2番に推薦してよいか。
司会（会長）	異議なし。